

地震火災を防ぐ15のポイント

➤ 事前の対策

- ① 住まいの耐震性を確保する
- ② 家具等の転倒防止対策（固定）を行う
- ③ 感震ブレーカーを設置する
- ④ ストープ等の暖房機器の周辺は整理整頓し、可燃物を近くに置かない
- ⑤ 住宅用消火器等を設置し、使用方法について確認する
- ⑥ 住宅用火災警報器（連動型住宅用火災警報器などの付加的な機能を併せ持つ機器）を設置する
- ⑦ 地震直後の行動（⑧～⑩）について平時から玄関等に表示し、避難時に確認できるようにする

➤ 地震直後の行動

- ⑧ 停電中は電化製品のスイッチを切るとともに、電源プラグをコンセントから抜く
- ⑨ 石油ストーブやファンヒーターからの油漏れの有無を確認する
- ⑩ 避難するときはブレーカーを落とす

➤ 地震からしばらくして（電気やガスの復旧、避難からもどったら）

- ⑪ ガス機器、電化製品及び石油器具の使用を再開するときは、機器に破損がないこと、近くに燃えやすいものがないことを確認する
- ⑫ 再通電後は、しばらく電化製品に異常（煙、におい）がないか注意を払う

➤ その他日頃からの対策

- ⑬ 自分の地域での地震火災による影響を把握する
- ⑭ 消防団や自主防災組織等へ参加する
- ⑮ 地域の防災訓練へ参加するなどし、発災時の対応要領の習熟を図る